

## 令和元年群馬県農畜産物等の輸出金額について

群馬県農畜産物等輸出推進機構にて、県内農畜産物及び食品の輸出金額を調査した結果、前回の金額を上回る12億6千万円となりました。

「牛肉」「農産加工品」の2区分で全体の約90%を占め、これらの輸出が好調で輸出金額は前回は上回りました。今後も各区分のさらなる輸出拡大を目指して、各種施策に取り組んでまいります。

### 1 令和元年の取組・特徴

- 「牛肉」は生産者・事業者の努力により、堅調な輸出を維持しています。  
県ではさらなる輸出拡大を目指し、EUでのカットニングセミナーや香港現地フェアなどを開催するなど、輸出量増加を図りました。
- 「農産加工品」のうち、県の特産であるこんにゃく製品が約70%を占めています。こんにゃく製品は、近年、健康食品として海外での認知度が向上してきており、輸出量も増加しています。
- 「青果物」はタイからのバイヤーの招へいや、現地でのPR販売などの取組により、新たな品目が定着するなど、順調に増加しています。

#### ◇ 輸出状況

区分	H30年度輸出額 (千円)	R元年輸出額 (千円)	前回比	主な輸出先
牛肉 (和牛・交雑)	666,996	783,949	117.5%	EU、香港、米国、東南アジア
農産加工品 (こんにゃく製品・加工品)	334,058	351,042	105.1%	東南アジア、香港、EU、米国
青果物	48,391	116,172	240.1%	東南アジア、米国、香港
酒類	5,405	12,080	223.5%	米国、南米、香港、東南アジア
その他	3,867	3,255	84.2%	東南アジア、台湾
合計	1,058,717	1,266,498	119.6%	

(今回より、国の調査方法に合わせ、調査対象期間を年度から暦年に変更しました／調査対象期間：平成31年1月～令和元年12月)

### 2 令和2年度の主な取組

現在、新型コロナウイルスの影響で輸出量は大幅に減少していますが、今後の状況を見定めながら早期の輸出量回復を目指し、以下に取り組めます。

- 県産青果物等の販売促進  
・継続した現地フェアの開催により、県産農畜産物の定着を図ります。また、越境ECサイトの活用も推進します。
- 海外需要の把握と商談会の開催  
・海外からのバイヤー招へいや国際食品見本市出展等により、商談機会の創出や海外需要の把握を図ります。また、新型コロナウイルスを考慮し、WEB商談会等の開催も検討します。

輸出金額内訳（輸出先別）

